

提供日 2025/7/8

タイトル 「静岡茶の絶景フォトコンテスト」最終審査結果について

担 当 第9回世界お茶まつり実行委員会事務局

(経済産業部 農業局お茶振興課 世界緑茶班)

連絡先 TEL 054-202-1488 FAX 054-202-1480



世界お茶まつり2025
World O-CHA(Tea) Festival 2025, Shizuoka, Japan

【世界お茶まつり2025】

「静岡茶の絶景フォトコンテスト」最終審査結果について

1 要 旨

第9回世界お茶まつり実行委員会は、「静岡茶の絶景」をテーマにフォトコンテストの最終審査会を実施し、大賞1点、入選10点、U23部門賞1点を決定しました。

2 受賞作品

<大賞：1点>

No.	作品名	撮影地	撮影者	作品
189	光彩に目覚めて	島田市	三井 雅之	

<入選：10点（1～3）>※順位なし

No.	作品名	撮影地	撮影者	作品
32	新茶の収穫	菊川市	金井 金敏	
107	朝陽に輝く	静岡市清水区	林 久雄	
110	急斜面の茶畑と 富士山雲海 (新茶の香り)	静岡市清水区	望月 秀明	

<入選：10点（4～10）>※順位なし

No.	作品名	撮影地	撮影者	作品
124	天空茶園	静岡市葵区	小沢 大介	
141	早春の富士に見守られ	富士市	望月 正晴	
252	星降る茶畑	榛原郡川根本町	加藤 英行	
259	雪の茶畑	富士市	外山 藤雄	
293	茶畑に佇む	島田市	藤ヶ谷 康平	
297	小さな茶娘さん	掛川市	手塚 光次	
304	農家喜びの瞬間	掛川市	手塚 光次	

<U23賞：1点>

No.	作品名	撮影地	撮影者	作品
346	夕日に染まる茶畑	掛川市	曾布川 知里	

3 審査員講評

審査員名	講評コメント
審査員長 詩歩 氏	<大賞作品について> 絶景とは、その時、その場所にいる人だけが撮影できる「再現性のない」風景であると考えています。 大賞作品は、太陽の光が茶畑に差し込み、コントラストが美しく、この日、この場所でしか撮れない写真です。 構成は、手前に茶畑、その奥には富士山、大井川と静岡の魅力が詰まっています。また茶畑とのバランスが取れており、茶畑の魅力が伝わる作品であると思います。 <審査全体について> 300点以上の応募から受賞作品を選ぶことが、難しくもあり楽しくもありました。 テーマは茶畑でしたが、静岡県ならではの風景や地形が活かされている写真が多くありました。 静岡の茶畑は斜面や富士山付近など、雲海が発生しやすいのが特徴で、様々な表情を見せるのが魅力であると作品から感じました。 茶畑の景観としての魅力を皆様にも感じていただきたいと思います。
審査員 ブレット・メイヤー 氏	静岡県の特徴が現れている写真が多く、静岡県の魅力を再発見することができました。 「訪れてみたい」と思う写真だけでなく、茶の摘採や茶娘が茶畑で働く様子といった、「やってみたい」と思う写真も多くありました。 絶景への観光はもちろん、この写真を見てお茶に関する体験や仕事をしたいと思う方がいると嬉しいです。
審査員 島田 理暉 氏	普段は、所属する大学の活動で、絶景と呼ばれる梅ヶ島の大代地区で活動していますが、コンテストでは県内各地の茶園絶景を見ることができました。 絶景を見慣れている私でも「絶景とは何か」を考える良い機会になりました。 絶景と聞くと自然を想像しますが、今回は人工の畑が被写体となっています。そのため、自然の美しさと、畑で働く人の様子や生活などの人工的な美しさとが調和しており、そこが茶畑の景観の魅力であると思いました。

＜参考：最終審査会概要＞

(1) 日 時

令和7年7月3日（木）13時30分から15時30分

(2) 場 所

水の森ビル2階共用会議室（静岡市駿河区南町14-1）

(3) 審査員

（審査員長） 詩 歩 氏	絶景プロデューサー、ふじのくに観光公使
ブレット・メイヤー 氏	日本茶インストラクター
島田 理暉 氏	静岡大学農学部「農業環境演習」12期生 農業環境リーダー（博士課程2年）

(4) 審 査

テーマ	静岡茶にまつわる絶景
応募数	346点
一次審査通過作品数	73点
最終審査	審査員による協議により賞を決定 大賞1点、入選10点、U23賞1点 ※U23賞は23歳以下の方の作品に限定して審査 ※作品は秋の祭典で展示予定